

【問題】

① 『聞く力』 ※問題文は放送で読まれます。

問 1

問 2

ア、修復によってきれいによみがえった黄金の輝き。

イ、金閣寺の歴史と周囲を取り巻く自然の美しさ。

ウ、金箔^{きんぱく}の美しさを支えている昔の人々の知恵。

問 3

問 4

ア、今を生きる人々は、昔の人々に頼りすぎ甘えている。

イ、今を生きる人々の方が、昔の人々より進歩している。

ウ、昔の人々も今を生きる人々もほとんど変わっていない。

問 5

問
6

ア、古都で感じて学んだ事
イ、研究することの重要性
ウ、今と昔の考え方の相違

問
7

ア、イチロー選手は、ゴカンのタイトルを独占した。
イ、ゴカンをときすまして、相手の様子を見る。
ウ、「麗^{うるわ}しい」という言葉はゴカンが良いので好きだ。

問
8

ア、申し分ない気がする
イ、申し訳ない気がする
ウ、申し別ない気がする

② 『書く力』

問題 あなた大切にしている言葉は何ですか。

「私の大切にしている言葉」を一つ挙げて、

その理由を、具体的な例を挙げつつ、三〇〇字以内で説明しなさい。

なお、原稿用紙の使い方注意して、記入しなさい。

③『読む力』 ※朗読は★から最後までです。

6月1日～7日は「水道週間」です。日本は全国にくまなく水道がひかれ、手軽に水を飲んだり、お風呂に入ったりできます。もつとも、将来も同じようなくらしを続けるためには、今のままでは難しいそうです。日本の水道がかかえる問題に詳しい首都大学東京特任教授の小泉明さんに聞きました。（松村大行）

★全国の地下にある水道管の長さはあわせて約65万キロメートル。地球の赤道（約4万キロメートル）の約16周分に当たります。人口に対する普及率は約98%で、世界でも恵まれた環境にある「水道先進国」です。1887年に神奈川県横浜市で日本初の近代水道が整備されて以来、水道の運営は各地の自治体が行います。小泉さんによると、その水道が今、ピンチだそうです。

特に問題なのが水道管の老朽化です。多くが鉄製で、時間がたつとさびたり、つなぎ目から水がもれたりします。法律で定めている耐用年数は40年。管理を行き届かせても60年が限界だそうです。水道管の多くは高度経済成長期の1960～70年代にうめられたため、これから次々と交換の時期をむかえます。老朽化の流れを止めるには、毎年2%の割合で、次々と交換する必要があります。さびや地震のゆれに強くと、100年はもつとされる水道管が発達されているため、交換がすめばひと安心です。しかし今の交換率は、年に0.8%以下。このペースでは、すべての交換に130年かかります。「中に

は400～500年かかるペースの自治体もある」そうです。人口の減少、水道技術者の不足、節水で水道料金の収入が下がったことなどで、交換に手が回らない自治体が増えています。対策であるのが、地域の水道事業者をまとめ、一つの事業者がなうエリアを広げる「広域化」です。事業者ごとの利用者を増やして収入を安定させ、交換費用をまかなう考えです。その計画作りを都道府県に求める水道法の改正案が今の国会に出ています。ただ広域化が進んでも、将来的な水道料金の値上げは避けられない見通しです。

日本では、水もれなどのトラブルが年に2万件以上起きます。海外では、家庭に届くまでに3割以上の水が失われる例も（日本は約7%）。そこで求められるのが、もれを見つける技術です。地中の管からのわずかな音を地上で聞き取る日本の技術が人気だそうです。

水道水が飲める国の数は30に満たないといわれます。さらに、大都市に限らず、国中どこでも飲める国はごく少数です。この水質が保たれているのは、管の中に汚水を入れない技術や、管理をになう技術者の努力のおかげだといえます。

「水道はふだん見えませんが、ないと生きていけない」ライフライン。ぜひ注目してほしいです」（小泉さん）

（出典 朝日小学生新聞 2017年6月1日付1面 『水道先進国』日本がピンチ）

【模範解答】

① 『聞く力』

問 1 京都府

奈良県

問 2 ウ

問 3 大変残念で、人として恥ずかしいと思っている。

問 4 ア

問 5 昔の人の知恵を受け継ぎ、残されたものを大切にすること。

昔の人への感謝の気持ちを忘れないということ。

問 6 ア

問 7 イ

問 8 イ

④ 『話す力』

問 1 神奈川県横浜市です。

問 2 人口に対する普及率が約 98%だからです。

問 3 水道管の老朽化です。多くが鉄製で、さびたりつなぎ目から水がもれたりするからです。

問 4 西暦 2500 年ころです。

問 5 管の中に汚水を入れない技術や、管理をになう技術者の努力のおかげです。

※問 6、問 7 省略